

◆「新しい川崎」メール版◆

－2026年4月21日第225号－

<目次>

● 川崎市内のリニア新幹線大深度トンネル工事の現在

◆ 神奈川・川崎の防衛産業の急展開

★ お知らせコーナー

- ① ～5/10 川崎平和館「川崎大空襲記録展」戦時下の市民生活と川崎大空襲
- ② ～4/22 中原空襲展
- ③ 4/26 ゆめシネマ上映会「タイムグラバあちゃん」
- ④ 4/29 シンポジウム 南武線のワンマン化で何が起きているか
- ⑤ 5/1 第97回川崎メーデー
- ⑥ 5/16 #チェンジ川崎 講演と交流のつどい「森や街路樹の大事な役割」

★ 編集後記

● 川崎市内のリニア新幹線大深度トンネル工事の現在

リニア新幹線の川崎市内の大深度トンネル工事について、メルマガ216号（2月17日発行）で、「川崎市内で本格化」という発信をしましたが、再調査をしたところ、「本格化」の表現は不確かな記事内容でした。

お詫びいたします。

今号では、JR東海が毎週、公開している「工事についてのお知らせ」（4月13日発表）に基づき、訂正の報告をします。

<川崎市内のリニア新幹線・大深度トンネル工事区間は？>

【市内の工事区間は2つ】

リニア新幹線は、品川を始点にして、多摩川をくぐり、等々力非常口から川崎市内に入ります。

区間1：梶ヶ谷工区（全長11.8km、区間は等々力非常口から東百合ヶ丘非常口まで）

区間2：東百合ヶ丘工区（全長4.2km、区間は東百合ヶ丘非常口から片平非常口まで）

片平からは、東京都の町田市を通り、再び神奈川県にはいり、相模原新駅へ向かいます。

【梶ヶ谷工区】 全長 11.8km

この工区では、西進、東進の2台のシールドマシンを使用します。
シールドマシン1号機は、梶ヶ谷非常口から西進して東百合ヶ丘非常口まで掘進する計画です。

本格掘進の開始は、2024年5月27日で、4月13日現在約4.7kmを掘削しています。
昨年12月22日の発表では、3.9kmだったので、3カ月余で0.8kmを掘り進みました。

これは、梶ヶ谷工区全長11.8kmのうちの4.7km（約40%）進んだこととなります。
シールドマシン2号機は、梶ヶ谷非常口から東進して等々力非常口まで掘進する計画です。

こちらは、1号機が東百合ヶ丘非常口に到達してから掘り始める計画なので、現在は、動いていません。

JR工事事務所に訪ねると、開始は1年以上先になるとの回答でした。

ネット情報では、すでに2号機が掘進を開始し、高津区を通過し中原区に入っていると流布されていますが、誤報です。

このペースでいくと、残りの7.1kmを掘進し、等々力非常口に達するのは、「事故ゼロ」でも早く、あと2年後の2028年4月以降となるでしょう。

【東百合ヶ丘工区】 全長 4.2km

シールドマシン1台を使つての計画では、東百合ヶ丘非常口から西進して4月13日現在約2.2kmに達しています。

12月22日発表では、1.6kmだったので、3カ月余で0.6km進みました。

全長4.2kmのうちの2.2km（約52%）進んだこととなります。
本格掘進の開始は、2024年9月。このペースで順調に進むと、残りの2.0kmを掘進し片平非常口に達するのは、早く、あと2年後の2028年4月以降とみるのが妥当でしょう。

<難工事で開業も見通せず、予算は4兆円も増大>

東京側の北品川工区（全長9.2km）では、北品川非常口から西進して等々力非常口まで掘進する計画で、2025年8月25日に本格掘進を開始しました。

しかし、2か月後の10月28日掘削が約0.5km進んだところで、トンネルの上部の地上道路が高さ13cm長さ10mも、隆起する事態が発生し、工事は4月現在もストップしたままです。

JR東海は2025年10月29日、リニア中央新幹線の総工事費について、2021年試算の7兆400億円から約4兆円増え、11兆円に上る見通しを明らかにしました。

理由は、物価高騰や「難工事」です。ここには、国からの借り入れ3兆円余を見込んでいます。

しかし、それだけの巨額予算を使っても、開業の時期を明示できなくなっています。一番賢明な判断は、リニア新幹線建設をやめる決断ではないでしょうか。(I)

◆ 神奈川・川崎の防衛産業の急展開

高市首相が、武器輸出の全面解禁へと前のめりです。

4月8日に成立した2026年度（令和8年度）当初予算は、初めて9兆円を突破し9兆353億円となりました。

増額で目立つのは、スタンド・オフ防衛能力（長射程ミサイル）やドローンやドローン対処機材の導入など、敵基地攻撃が可能になる武器の増産です。

そして、これに群がる国内の防衛産業は、ここぞビジネスチャンスと、防衛予算に食い込みを図っているようです。

その実態について、東芝の職場を明るくする会の海老根弘光さんにインタビューしました。

Q：県内の電器産業の軍事生産の拡大はどうなっていますか。

A：県内では今大変な受注増が起きています。

2024 年度防衛相中央調達実績で、防衛相契約金額の 10 位内に、神奈川県内に拠点を置く電気メーカー5社が入りました。

<会社名と契約額と主な納入品>

3位 三菱電機 4956 として、億円 統合装備計測システム（鎌倉市）

4位 NEC 3117 億円 自動警戒管制システム（川崎市）

5位 富士通 1736 億円 陸自クローズ系クラウド基盤（川崎市）

7位 東芝 機上電波測定装置、誘導弾（川崎市）

10位 日立製作所機雷捜索用水中無線機（横浜市）

Q：海老根さんが働いていた東芝の状況は？

A：東芝は、戦前は軍需生産を担ってきた大企業です。終戦までの5年間で急成長し、従業員数は2万4千人から8万3千人、売上高は3.4倍、利益は9.1倍になりました。現在は、レーダをコア技術として防衛生産に力を入れています。

これまでの防衛生産拠点となってきた幸区の小向工場が手狭になり、横浜市磯子区の横浜事業所に、大型ミサイルの製造工場を設置した。この工場の建設予算79億円はすべて国の負担です。

Q：まるで国営企業のようにですね。防衛産業で働く労働現場はどんな実態なのでしょう。

A：東芝小向工場では、軍需生産職場特有の労務管理体制があります。工場では、防衛整備品の機種によって、防衛秘密保全契約が結ばれます。

防衛装備品の設計、製造に関わる労働者は、「防衛秘密作業従事者適格証」の交付を受ける必要があります。

そのために、各人の経歴明細書などを防衛省に提出し、審査を受けます。

この経歴明細書がすごいものです。

7ページ24項目の身上調査項目があります。

本人だけでなく、二親等以内の血族、および婚族も記載する。
作業場に入出入りする労働者は必ずこの適格証を胸につけなければなりません。

さらに、毎月開催される防衛秘密保全教育を義務づけられます。
徹底した秘密保持の行動が教育されて、労働者同士が互いに監視しあうような空気がつくられていきます。

Q：そんな防衛産業の現場での憲法で保障された民主的権利を守っていく運動は？

電気労働者懇談会や、電気情報ユニオン（個人加盟の労働組合）が、労働者の生活と権利を守る運動にとり組んでいます。

防衛生産の工場の門前でビラを配布すると、多くの労働者がビラを受け取り、意見も寄せてくれます。

労働者の中には、「死の商人が支配する職場への道は許せない」という熱い空気も生まれています。

このような力が、職場に憲法を生かし、武器輸出の歯止めをかける闘いのエネルギーになろうとしていると思います。

（※質問は市古、回答は海老根さんです。）

★ お知らせコーナー

① 川崎平和館「川崎大空襲記録展」戦時下の市民生活と川崎大空襲

3/7～5/10 まで

川崎市平和館

主催 川崎市平和館

入場無料

② 中原空襲展

4/17～22

中原市民館 1 階ギャラリー

主催 川崎中原の空襲・戦災を記録する会

入場無料

③ ゆめシネマ上映会「タイマグラばあちゃん」

4/26 ①9時 ②12時 ③15時

かわさきゆめホール

岩手県のほぼ真ん中に位置する早池峰山の麓に戦後、“タイマグラ”と呼ばれる 小さな開拓地がつくられ 10 軒あまりの農家が入植した。

しかし、東京オリンピックの頃までにはほとんどの家が去り、残ったのは向田久米蔵さん、マサヨさんの夫婦二人だけだ。そして。

申し込み；ゆめホール 044-433-3003

cinema@kawasakiyume.com

[予告動画](#)

[詳しくはこちら](#)

④ シンポジウム 南武線のワンマン化で何が起きているか

4/29(水祝) 14時

川崎市総合自治会館

南武線のワンマン化の中止を求める川崎市民連絡会

連絡先 赤石(090-5301-5091)

[xリンク](#)

⑤ 第97回川崎メーデー

5/1(金)10時開会

中原平和公園

連絡先 川崎メーデー実行委員会 TEL044-211-5164

⑥ #チェンジ川崎 講演と交流のつどい

「森や街路樹の大事な役割」

5/16(土) 18:30~20:50

総合自治会館大会議室

お話 加藤颯(あきら)さん(千葉大学大学院准教授)

報告 等々力緑地を守る運動にとりくんで／等々力緑地を守る会

資料代 300円

主催 川崎民主市政をつくる会

連絡先 市古博一(090-7830-8030)

★編集後記

「国旗損壊罪」をめぐり、岩屋毅前外相の発言が注目されています。

岩屋氏は「国旗損壊罪」を新設する必要性がないと考えており、その根拠として「立法事実がない」と明言しています。

「立法事実」とは、法律を制定するにあたっての社会的な根拠や実例のことです。

岩屋氏は「日本で日章旗が焼かれたり損壊されたという事例はほとんど見たことがない」と述べ、そうした行為が社会問題化していない以上、新たな刑罰法規を設ける必要はないとしています。

立法事実がないまま法律を作ることは、国民に対して過度な規制を課すことになりかねず、「国民の精神をどこかで圧迫するおそれがある」とも語っています。

そもそも、国旗損壊に関してはすでに「器物損壊罪」や「威力業務妨害罪」などで対応可能であり、特別な法律を新設する必要性は低いと考えています。

日本維新の会や、参政党も前のめりで賛成する中、自民党内でのこのような理性的な意見は貴重です。

国家情報会議設置法についても、国民民主党と維新が賛成の立場ですが、岩谷氏は、「新法は不要」

スパイ防止法制定促進国民会議は、国際勝共連合が作った組織であることが今、ネット上で話題となっています。

これについては、自民党、日本維新の会、国民民主党、参政党、日本保守党、チームみらい、が積極的。

この問題でも岩谷氏は慎重論。

特定秘密保護法など既存の情報保護制度があり、「現行制度で十分対応できている」と発言。

「知る権利や基本的人権に配慮しながら慎重に検討されるべき」などと発言しており、ここでも理性的な意見が光っています。

本来、政権党の暴走にブレーキをかけるべき野党の一部が、勝共連合が作った組織に顔を並べる姿には、解散させられても影響力を維持している旧統一教会の影を感じて身が震えます。

再審法をめぐる自民党内の論議には、少しですが救われます。

「まっとうな意見を言う場面もあるんだなあ。」と。

高市首相は、その人気を背景に「悲願」を実現すべく躍起になっていますが、結構いばらの道かも。

あてにはできませんが。(Y)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆